

【別紙2-5】播磨中央公園 野外ステージ跡地等活用計画概要

●スケートボード (SB) 施設 (国際大会誘致を想定した規模・レイアウト)



①スケートボード (ストリート系)
旧野外ステージ観客席の傾斜を生かしながら、街中の階段や手摺に模した構造物をレイアウトする。



②スケートボード (パーク系)
プールセクションを中心にしたコンクリート製セクションを整備する。

●MTB施設



③MTBクロスカントリーコース
山裾の傾斜の緩やかなエリアを子供や初心者向け、中腹から上のエリアを中・上級者向けとし、様々なレベルのコースを整備する。



④MTBトライアルコース
常設する岩や丸木、人工の構造物のセクションをレベル分けして整備する。

●BMX施設 (国際大会誘致を想定した規模・レイアウト)



⑤BMXフリースタイルフィールド
色々な走行ラインや高さを出せるよう、ジャンプ台や斜面のレイアウトを工夫する。路面も欧米のパーク同様の仕様とし、滑りやすい材質を採用する。また、周囲の地形を生かしながら、ストリート系のセクションも配置する。



⑥BMXフラットランド (ステージ兼用)
ブレیکن (2024/パリオリンピックより採用) や地域イベント時のステージとしての利用も想定する。



⑦BMXレースフィールド
大会用コースの他に大会時の練習用エリアを兼ねた初心者コースを併設する。

●パンプトラック



⑧パンプトラック
スケートボード、BMX、インラインスケートなど子供や初心者を楽しめるように、緩やかな凸凹のコース設定とする。



施設名	数量	単位	整備概要
観覧席	約7,000	m ²	既存の芝生観覧席をそのまま残す。
クラブハウス	1	棟	【想定する機能】 事務所、受付・料金収受、トイレ、更衣室兼ロッカー、シャワールーム、休憩スペース、給湯室、授乳室、物販施設(用具類等)、倉庫(レンタル物品・管理用具等)

●その他施設